



史料室だより

清泉女子大学史料室 Seisen University Archives

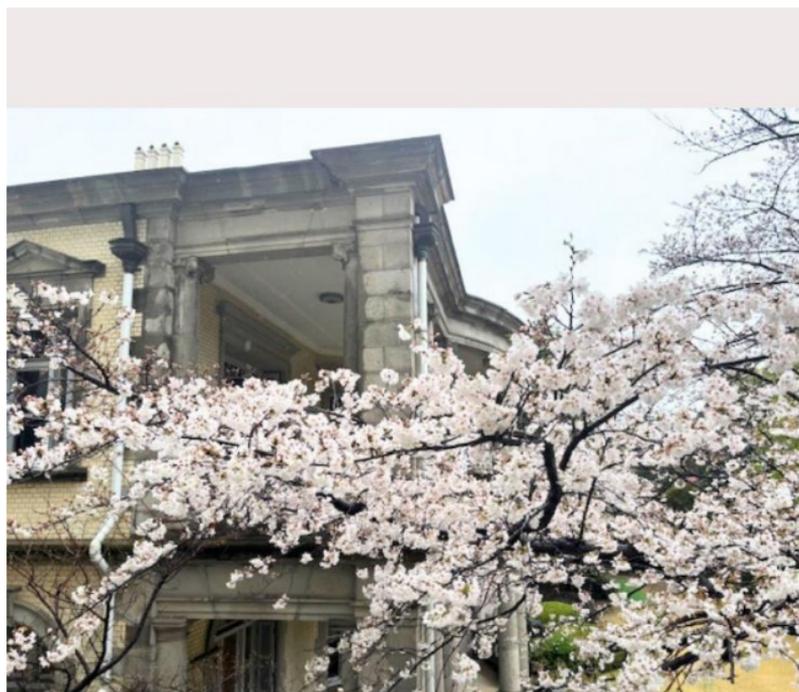
No.10 奥庭の桜



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんの訪れを待ち望んでいたかのように、大学の桜が満開となりました。

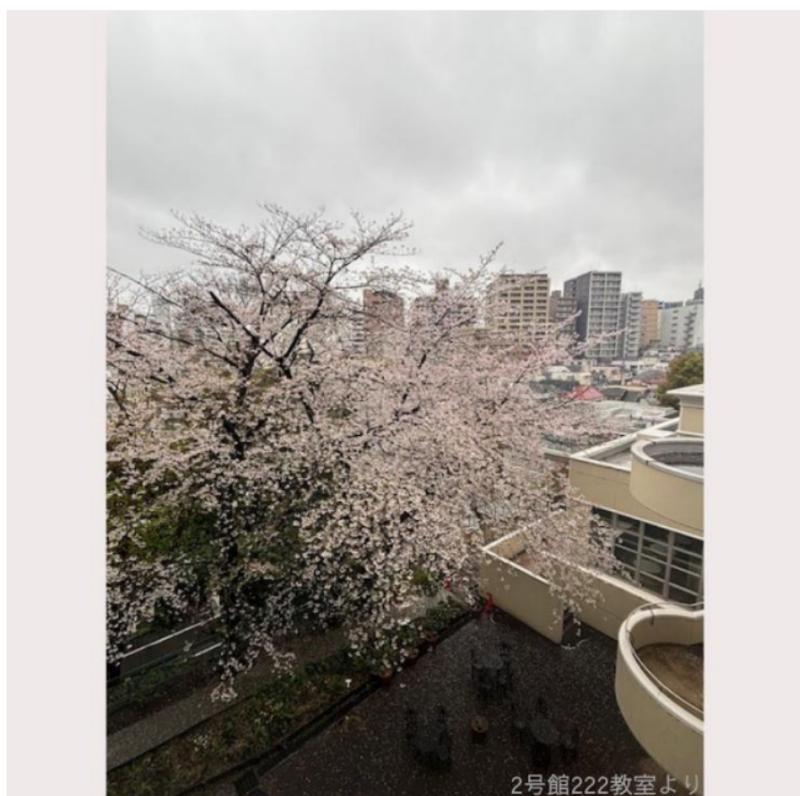
本館前庭の芝生の上でのお花見もいいものですが、1号館2階や3階のベランダは桜の花を間近に見られるお花見ポイントです。また、2号館からラファエラホールへの渡り廊下脇のパティオや2号館222教室からの眺めも素晴らしいです。史料室もお花見の穴場です。学内のいろいろな場所でのお花見を楽しんでみてはいかがでしょうか。



1号館2階ベランダより



1号館3階
ベランダより



2号館222教室より

奥庭の1号館に沿って植えられた桜の木は老木となり、腐食が進むと根本から倒れる可能性があることから、花の季節が過ぎた時点で伐採するという話が2025年3月にもちあがりました。しかし、桜の木を惜しむ声があがり、今年、2025年の花の時期が過ぎた時点で落下の恐れのある枝を撤去する程度に留めることになりました。現時点では、どの程度の枝の伐採となるのかは不明ですが、現在のような枝ぶりのお花見は今年が最後となりそうです。

ところで、これらの桜の木はいつ頃に奥庭に植えられたものでしょうか。

卒業アルバムで桜の木が最初に確認できるのは1981年です。掲載写真の5枚目には、左端にほっそりとした桜の木が写っています。この頃から数えると樹齢は50年位と推察されます。一般的に桜の木（ソメイヨシノ）の寿命は60年前後とされているようですので、本学の桜も老木の域に入っていると言えるでしょう。うまく手入れをすれば寿命は長くなるそうですので、桜の木の根元を踏まないようにするなどして大切にしていきたいですね。



総務課

1981年卒業アルバムより



奥庭より1号館の桜を望む
2025年3月31日撮影

「史料室だより」は清泉女子大学公式インスタグラムにて連載中です。